

「日々の理科」(第 3022 号) 2022, 11, 15

「秋の東北鉄道旅行 (22)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

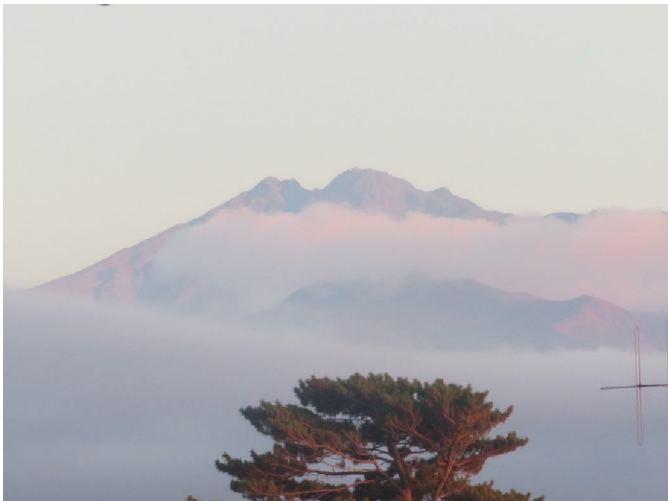
お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーション研究所 研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

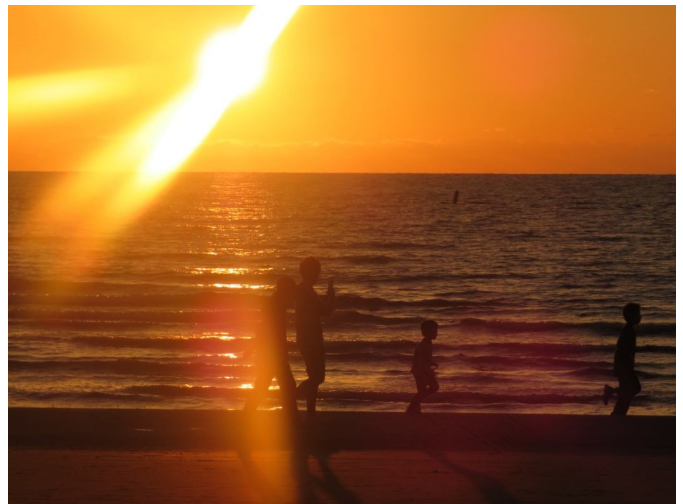
象潟駅から徒歩 10 分ほどの砂浜は広い。トイレや着替え場所もあるので、夏は海水浴場になるのだろう。



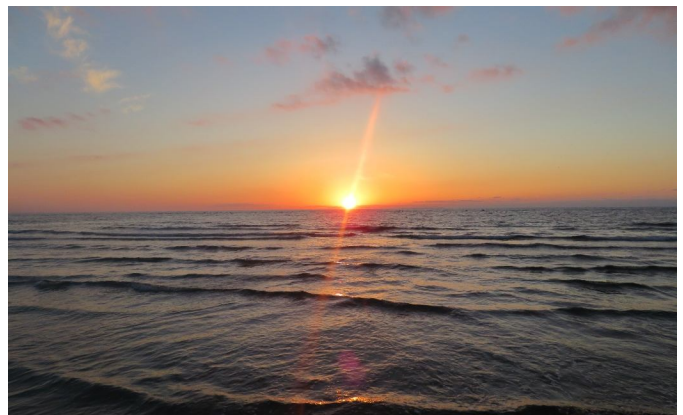
ふり返ると、なたびく雲の上に、山が見えた。かなり高い山だ。このあたりで、海岸からも見える山といえば、鳥海山しかない。



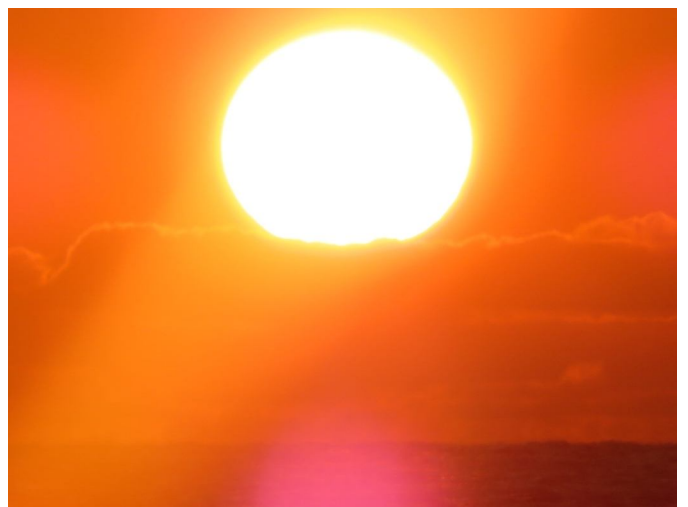
鳥海山 (ちょうかいさん) は標高 2234m の火山である。山形県と秋田県の境にあり、それぞれ「出羽富士」「庄内富士」とも呼ばれている。山頂 (最高標高点) は山形県側にある。有史以来、多くの噴火記録が残る活火山で、1800 年 (江戸時代) の噴火では、死者も出ている。一番最近の噴火は 1974 年 (昭和 49 年)、紀元前には大規模な山体崩壊を起こしたこともわかっている。「鳥海」はかつて、上野～秋田・青森方面を結んだ、特急や寝台列車の愛称でもあった。



海岸では地元の親子が遊んでいた。こんなすばらしい夕陽を背景に、毎日遊べる家族は、実に幸せだと思った。ほかにも、カメラを持った人、貝殻を拾う人、数組のカップルが散策していた。



肉眼では、もう太陽が水平線にかかり始めているように見える。よく見ると、水平線の少し上に雲 (層積雲) があるようだ。



太陽や月が沈むのは意外と速い。太陽の視直径は約 0.5° なので、「直径分」が移動するのにわずか 2 分しかかからない。少し目を離していると「あ、もう沈んじゃった!」となる。私は目を離さないことにした。